

自走リモコン草刈機による獣害対策用電気柵下の草刈り法

福島県農業総合センター 企画経営部 経営・農作業科

1 部門名

農業土木－農業土木－その他

2 担当者名

池田健一

3 要旨

獣害対策用電気柵は、雑草が伸び柵線に触れると漏電し効果が低下するため、こまめな除草が必要である。市販の自走リモコン草刈機に、「際刈りアタッチ」を装着することで、電気柵下の草刈りが容易に行える（図1）。

- (1) 自走リモコン草刈機の刈高さは5.8～6.0cmであり、刈払機とほぼ同等であった。
- (2) 自走リモコン草刈機の作業速度は0.18m/sであり、刈払機の約2倍であった。
- (3) 支柱が傷ついたり、動いたりすることはなく、操作に慣れれば、支柱や柵線を気にすることなく作業が可能であった。



図1 自走リモコン草刈機による草刈状況

※自走リモコン草刈機は、株式会社ササキコーポレーション製smamo（希望小売価格：走行ユニット1,200,000円、際刈アタッチ265,000円）を使用した。

※試験条件：電気柵は道路法肩に設置し、自走リモコン草刈機は道路上を走行、柵線は地表から20cmの高さに設置し、刈取部からの余裕高は3cmとした（植生は草本）。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和元年度～令和5年度
- (2) 研究課題名 中山間地における農地保全管理の省力化技術体系の確立
〔福島県中山間ふるさと水と土保全基金〕

5 主な参考文献・資料

なし